

目次

2 平成26年度 重点施策と重要事務事業の概要

- 12 ゴールデンウィーク期間のごみ収集&し尿浄化槽日程
学校適正配置通信⑦
- 13 障害者災害支援者の登録について
障害関係各種手当について
- 14 笠間市まちづくり市民活動助成事業を募集します
KapoCa提案事業への還元受付を開始します
- 15 笠間市人事
- 18 平成25年度 笠間市表彰
- 27 かさま観光大使紹介



平成26年度重要事務事業

笠間市総合計画後期基本計画を進めるため、平成26年度は、「市街地活性化の推進」および「健康都市かさまの推進」を重点施策として位置付け、「震災の復旧・復興から成長へ」そして、今後ますます進展する「少子高齢化・人口減少社会」への対応に向け、78の重要事務事業を展開します。

「市街地活性化の推進」では、市街地の賑わいを創出し、活性化を図るため、「笠間市駅周辺」と「笠間稻荷門前通り周辺」を柱として、地域の特性をいかした拠点整備を行い、持続可能な市街地の形成を目指した事業を行います。

「健康都市かさまの推進」では、市民の健康水準と生活の質の向上を図るため、「人の健康づくり」と「生活を支える環境づくり」を柱に、市民と行政が一体となって「健康都市かさま」の実現に向けた事業を行います。

平成26年度
重要事務事業（78事業）概要

市街地活性化の推進

市街地整備活性化推進事業（活性化方策の企画立案・事業調整）

新規

9,880千円

市街地の基礎的なデータを基に、庁内推進会議や地域住民との懇談会・イベントを開催し、活性化方策の企画立案・事務調整を行います。

地域交流センター整備事業（友部地区詳細設計）
32,117千円



地域交流センターイメージ図

市立病院整備事業（基本設計）

新規

30,000千円

在宅医療に対応できる医療体制を確保するため、建物が老朽化し、狭い現施設を、友部駅北側の市有地へ移転新築します。平成30年4月のオープンを目指し、基本設計に着手します。

市道（友）1175・1180・1195・1196号線（狭あい道路解消）及び市道（友）1級6号線（排水対策）
87,000千円

友部駅周辺の北側地区の狭あい道路の拡幅事業および、東平地区の排水対策事業の詳細設計を行います。

「石の百年館」運営事業（稲田駅前）

3,511千円

稲田みかげ石のPRと筑波山地域ジオパーク構想の観光拠点として稲田駅敷地内にオープンした、「石の百年館」を活用し、稲田駅周辺の活性化を図ります。



稲田駅敷地内にオープンした「石の百年館」

稲田駅前広場・停車場線・観光施設誘導サイン整備事業

新規

47,004千円

「石の百年館」を拠点とし、稲田みかげ石の産地をイメージする駅前広場整備や、県道稲田停車場線の歩行者空間整備、観光ハイキングコースの誘導サイン整備を行います。

笠間稲荷門前通り整備推進事業（道路景観整備・まちなみ景観整備）

94,946千円

観光拠点である笠間稲荷神社の門前通りに賑わいを創出するため、歩行者に優しく景観に配慮した道路を整備し、地域の活性化を図ります。



石張舗装整備が進む笠間稲荷門前通り

笠間稲荷周辺まちづくり推進事業（旧井筒屋耐震補強設計等）

17,651千円



旧井筒屋外観

古くから観光笠間の顔であった大型宿泊施設（旧井筒屋）の再整備と、笠間稲荷門前通りから、竹の

小径、日動美術館や大石邸跡などへの回遊性を確保するための整備を行い、観光客増加による賑わいの創出を図ります。

**「健康都市かさま」の推進
人の健康づくり**

健康都市づくり事業（普及・啓発）

783千円

「健康都市かさま」宣言の意義や、市民の健康に対する意識を高めるため、健康都市講座（講演会）の開催や生活習慣病の予防、食生活の改善策などの啓発活動を行います。

地域の健康づくり事業（教育・相談・指導・体操・栄養指導等）

990千円

生活習慣病を予防するため、健康教育、健康相談、健康体操、栄養指導などを展開します。

がん検診推進事業（無料クーポン券配布）

9,325千円

がんの予防および早期発見のため、特定年齢の対象者に無料クーポン券を配布し、受診率の向上を図ります。

平日夜間・日曜初期救急診療事業

18,000千円

市立病院、医師会、薬剤師会、県立中央病院が連携し、市立病院

において初期救急診療を実施します。

医療福祉費支給事業（マル福）

447,285千円

市の独自制度により中学3年生まで対象年齢を拡大しています。（県補助事業は小学校3年生まで）

医療福祉費自己負担金助成事業（外来・入院時自己負担分助成）

58,705千円

医療費の負担を一層軽減するため、市の独自制度により医療福祉費受給認定者が医療機関等へ支払った自己負担金および入院時の食事療養費を助成します。

特定健康診査等事業（メタボ健診）

57,403千円

生活習慣病予防やメタボリックシンドロームに着目した特定健康診査および保健指導を実施するとともに、受診率の向上に努めます。

国保健康づくり推進事業（人間ドック・脳ドック費用助成）

24,396千円

疾病の早期発見・早期治療のため、国保加入者の人間ドックや脳ドックにかかる費用の一部を補助します。

高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定事業 新規 7,017千円

介護保険事業のさらなる充実を図るため、第6期介護保険事業計画（平成27～29年度）を高齢者のための総合的な計画として、高齢者福祉計画と一体化し、策定します。

包括的支援事業（相談・支援計画・生活支援） 7,105千円

介護支援が必要となった場合にも、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう、総合的な相談を行い、それぞれに合った支援計画を立てて適切な生活支援を行います。

地域クラウド運営事業（介護・医療情報等の連携） 10,347千円

新規

介護認定情報や見守り支援のための情報、救急医療情報などを効率的に共有するためのシステムで、関係機関がこれらの情報を有効活用することにより、医療・介護等の連携を強化し、地域全体での支援体制づくりを図ります。

介護予防支援事業（生活機能チェック・介護予防教室） 9,710千円

要介護状態にならないようにするため、生活機能評価により、介

護のリスクが高い（運動機能の低下・口腔機能の低下・低栄養等）方に対し、介護予防教室やシルバリハビリ教室、スクエアステップ教室などの介護予防を行います。



▲訪問歯科ユニットを使った在宅での治療の様子



▲訪問歯科ユニット

市立病院訪問リハビリ事業（平成26年4月開始）／医療機器整備事業 拡充 12,100千円

「笠間市立病院建設協議会」の答申を踏まえ、在宅医療を軸とし、今までの在宅訪問診療に加え、訪問看護や訪問リハビリなどの新たな医療に取り組みとともに、医療機器の更新を図ります。

かさま地域医療教育ステーション推進事業（筑波大学病院連携） 22,000千円

拡充

地域医療に従事する医師の養成と地域医療の充実を図るため、昨年度まで県が実施していた筑波大学との連携事業を、今年度からは笠間市単独事業として指導医と研

修生を受入れ、理想的な地域医療教育を実践します。

健康づくり推進事業（食育・生活習慣病予防） 1,640千円

親子料理教室、子ども料理教室などさまざまな「食」の経験を通じて、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活の実践や、心身の健康増進に寄与します。



▲子ども料理教室

▼生活習慣病予防教室



ヘルスロード活用推進事業 拡充 4,796千円

ヘルスロードマップやコース案内看板の設置により、ヘルスロードを活用した健康習慣づくりを促進します。また、笠間市ウォーキ

ング協会と連携し、ウォーキングの体験教室などを開催します。



コース案内看板（飯田ダムコース）

かさま陶芸の里ハーフマラソン大会 事業 9,570千円

日本陸上競技連盟の公認コースとなったハーフマラソン大会の実施により、「健康都市かさま」のPRとともに、参加者の健康増進、体力の強化を図ります。



ハーフマラソン大会

「健康都市かさま」の推進
生活を支える環境づくり

幹線道路整備事業（来栖本戸線・笠間小原線・南友部平町線・岩間八郷線・友部池野辺線・岩間駅大通り線「延伸部」・市道（友）2級5号線「随分附」・市道（友）1級5号線「小原」・市道（友）1級7号線「美原」）
546,237千円

市内幹線道路等を整備し、交通便利性を高め、地域の一体化や均衡ある発展を図るため、早期完成を目指して整備を推進します。

デマンドタクシーかさま運行事業

52,413千円



デマンドタクシーかさま

「デマンドタクシーかさま」は、生活交通の手段として月曜日から金曜日に運行している予約制の乗り合いタクシーです。市民の公共

交通機関として利便性の向上を図ります。

土づくり運動推進事業

1,866千円

土づくりを通じて化学肥料、農薬の削減を図ることにより、環境負荷の軽減に配慮した環境保全型農業を推進します。



堆肥づくり講習会

環境保全型農業直接支援対策事業（有機農業・減農薬農業等取り組み支援）

549千円

地球温暖化防止や生物多様性保全のため環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者に対し、経費の一部を助成します。

行政区管理防犯灯整備事業

新規

106,119千円

昨年度は市管理防犯灯1,100基をLEDに切り換えました。今年度は行政区管理の防犯灯のうち約6,700基をLED化し、省エネを推進し、行政区の電気料金の軽減を図ります。

環境基本計画策定事業

新規

3,888千円

放射能・エネルギー政策などの新たな環境問題や、社会情勢と環境状況の変化を踏まえ、現計画（平成20（29年度）を見直し、環境保全に関する長期的な施策を推進するため、平成27年度にかけて計画の改定を進めます。

自然エネルギー活用助成事業（住宅用太陽光発電システム設置費助成）

40,200千円

環境負荷の少ない資源・エネルギーの有効利用を図り、環境にやさしいまちづくりを推進するため、住宅用太陽光発電システムの設置費一部を助成します。

空き家等の適正管理事業（老朽・危険空き家解体費助成）

3,000千円

安全と安心の確保および住環境の向上を図るため、老朽化して危険となった空き家について、市の指導により、空き家の解体・撤去

をする場合、その経費の一部を助成します。

図書館サービス事業（図書購入）

拡充

35,018千円

市民の利用率が全国でも非常に高く、さらなる利便性や情報発信力の向上を目指すため、図書購入費の拡充や施設の適切な維持管理を行います。

土地利用・都市基盤

畜産試験場跡地活用促進事業

畜産試験場跡地の利活用を促進するため、県が行う雨水排水施設等の整備（平成27年度完了予定）と連携して、各種情報の収集や関係機関と協議し、地域の活性化につながる有効活用の方法を検討します。

産業

筑波山地域ジオパーク（大地の公園）構想推進事業

397千円

地質や自然生態、歴史や文化、稲田みかげ石など地球の壮大な成り立ちから生まれた地域資源を保全、活用し、地域の活性化を図ります。また、筑波山を囲む6つの自治体と連携して、日本ジオパーク委員会からの正式認定を目指します。

農業公社(仮称)設立準備事業

新規 4,912千円

高齢化による担い手不足や遊休農地の解消、農産物の加工・販売などを柱とした、農業法人組織の具体的な事業計画策定等の準備を進め、今年度内の設立を目指します。

地場農産物PR事業 2,062千円

本市の特性・優位性を活かした農業の振興を積極的に推進するため、「笠間の粋(笠間ブランド)」の確立やPRを実施します。



「かさまの粋(笠間ブランド)」登録商品

地場農産物振興拡大事業(6次産業化・地産地消) 875千円

アグリビジネスネットワーク協議会を核とし、学校給食の食材提供拡大、地産地消の推進、栽培技術の承継、農産物の加工、笠間の特色を生かした「笠間の野菜」の研究・開発を行い、「笠間の粋」の認証と合わせて、特色を生かした農業体系を構築します。

人・農地プラン策定事業

210千円

農業経営の安定と魅力ある農業の構築を目指し、新規就農者への営農相談や地域懇談会の開催等を盛り込んだ、地域農業の将来像となる「笠間市人・農地プラン」を策定します。

担い手対策強化促進事業

5,883千円

農業後継者が技術習得するための研修経費の一部や、新規就農者の住宅家賃相当額を助成します。

新規就農総合支援事業

9,000千円

新たな担い手発掘および新規就農者の安定経営に向けた支援を行います。

農山漁村活性化プロジェクト交付金事業(大古山地区基盤整備)

93,516千円

稲田大古山地区において、農地の生産力向上や耕作放棄地の解消を図るため、区画整理や農業用排水路等の基盤整備を行います。

震災対策農業水利施設整備事業(不動谷津池地区耐震調査等)

新規 7,000千円

地震による被災の影響の高い農業水利施設の震災対策として、小原地区の不動谷津池の耐震調査およびハザードマップの作成を実施します。

グリーンツーリズム推進事業(交流促進・体験農業支援) 1,337千円

「笠間クラインガルテン」を核とし、「食」と「農」をテーマにしたグリーンツーリズム企画や、農作物の収穫体験などにより、都市住民と農村の交流を図ります。

企業誘致推進事業 1,868千円

立地アンケートや東京を中心としたPRを実施し、優良企業の誘致を進めるとともに、地元雇用の拡大や従業員の設定促進を図ります。

市民雇用創出事業(職業能力アップ・中小企業雇用支援等) 7,256千円

個人事業主や非正規雇用者、離職者や学生を対象とした、職に役立つ資格取得に要する費用の一部や、中小企業の雇用に対する助成により雇用創出を図ります。また、新規高校・大学卒業生等を対象とした「笠間市就職面接会」をハローワークと協力して開催します。



就職面接会

健康・福祉

子ども・子育て支援新制度推進事業（計画策定／子ども・子育て会議運営） 3,112千円

幼児期において、質の高い教育・保育の一体的な提供や、地域における子育て支援の充実を図るため、子ども・子育て支援事業計画を策定します。

出会い創出支援事業 486千円

市内の団体が行う、男女の出会いの場を創出する事業に助成します。

母子保健事業（特定不妊治療費助成） 5,000千円

少子化対策の一環として、不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、治療費の一部を助成します。

地域生活支援事業（障がい者の日常・社会生活支援）

54,629千円

障がいをお持ちの方が地域で自立した生活が送れるよう、地域の特色を活かしたサービス体制をつくり、支援や福祉サービスの充実を図ります。

生活環境

市道（笠）2336号線整備事業（ギャラリーロード） 41,200千円

観光拠点である笠間芸術の森公園へのアプローチとなる、ギャラリーロードの歩道景観整備を行います。



整備が進むギャラリーロード

道路ストック総点検事業（道路照明・標識等の老朽度調査）

新規 6,538千円

戦略的な維持修繕サイクルを進めていくため、現在設置されている道路照明や案内標識等の現状を調査し、老朽箇所の点検を行います。

笠間地区市街地浸水対策事業

20,000千円

近年多発するゲリラ豪雨による浸水被害を未然に防止するため、市街地を中心に、緊急性の高い箇所の整備を推進します。

水道施設等整備事業（財政計画策定・石綿管更新・鉛製給水管解消） 170,700千円

計画的な水道施設整備を推進するため、浄水施設等の耐震および機能調査に基づく財政計画を策定します。

また、石綿管更新事業や鉛製給水管解消事業などにより、安心安全な水の供給を図ります。

下水道長寿命化推進事業（計画策定・施設改修） 283,900千円

浄化センターともべについて、下水道施設の健全度に関する点検・調査結果に基づき下水道長寿命化計画を策定し、施設の延命やトータルコストの削減を図ります。

公共下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽整備事業

968,001千円

公共下水道施設と農業集落排水施設の整備を進めます。また環境保全へ向けて公共下水道や農業集落排水への接続を推進し、事業区

域外においては単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への入れ替えを促進します。

定住化対策事業（定住化促進PR・空き家物件調査・利活用費助成） 7,723千円

空き家の登録制度「空き家バンク」と、空き家修繕や移住者への支援制度、また移住・二地域居住などの受入態勢を整え、定住化促進のPRを実施します。

「笠間の家」活用事業

5,671千円

日本を代表する建築家伊東豊雄さん設計の「笠間の家」を地域活性化の拠点とし、アート作品の企画展やワークショップを開催し、作り手どうしや都市住民と市民等の交流を図ります。



「笠間の家」内部

防災対策事業（防災訓練・防災士資格取得助成等）／自主防災組織育成事業
11,859千円

防災に関する地域のリーダー（防災士）を養成することで自主防災組織の強化を図ります。また、自主防災組織を結成する地域へ補助金を交付します。

茨城消防救急無線・指令センター運営協議会事業
155,967千円

大規模災害に備え、迅速かつ広域的な応援体制を整えるため、平成28年6月から消防救急無線をアナログ方式からデジタル方式へ移行します。

民間救急ボランティア育成・啓発事業
196千円



KHS研修会

救命率の向上を目的として、応急手当普及員の育成・指導を行うとともに、資格取得者に民間救急ボランティア（KHS）に登録を依頼し、救命講習会等で活動を推進します。

教育・文化
幼保連携型認定こども園整備事業（てらざき保育所と笠間幼稚園の一体化）
新規 33,664千円

「公立保育所・幼稚園整備基本計画」に基づき、笠間幼稚園とてらざき保育所を一体化した「幼保連携型認定こども園」（平成28年度開園）の設計業務を行います。

学力向上支援事業 46,863千円

すべての小・中学校に、本市が独自に雇用した「授業支援講師」を配置し、ティームティーチングによる授業や習熟度別指導の充実を図るとともに、児童生徒の理解度や興味・関心などの個人差を考慮した学習指導を実施します。

寺子屋事業（従前カリキュラムに英語教育を追加）

拡充

6,189千円

子どもたちの活動や学びの機会づくり、学習の場づくりを推進するため、毎週土曜日に小学5・6年生を対象とした「国語・算数」の

学習指導を、3地区の公民館で実施します。今年度から新たに「英語」のカリキュラムを加え事業の充実を図ります。



寺子屋事業

学校統合準備事業
新規

40,555千円

平成27年4月の学校統廃合がスムーズに進められるよう、統合の対象となる学校・保護者・地域関係者等で組織する小中学校統合準備委員会により、子どもたちの事前交流やスクールバス運行の詳細、PTAの組織体制等の協議を進め、万全の準備を整えます。

小・中学校施設環境改善事業（施設耐震化）※繰越分
476,604千円

安心安全な学校づくりを推進するため、稲田中学校の校舎と佐城小学校・岩間第一小学校および岩間第二小学校の屋内運動場（体育館）の耐震補強工事を行います。これにより予定された耐震工事はすべて終了します。

笠間城保存整備調査事業

12,030千円

関東地方においては珍しいとされる石垣を備えた山城である笠間城跡について、将来的な保存のための調査・検討を実施し、国史跡の指定を目指します。

全国こども陶芸展推進事業

5,925千円

陶芸を通して子どもの豊かな感性を養い、自由な想像力を発揮する場を提供すると同時に、「陶芸の里かさま」を全国に発信します。

かさま国際音楽アカデミー事業

7,516千円

世界最高峰の講師陣による質の高いレッスンをヴァイオリンとピアノの2クラスで開催し、世界に羽ばたく若手音楽家を育てるとともに、街角コンサートなどを通して音楽によるまちづくりを推進します。



街角コンサート

自治・協働 協働のまちづくり推進事業

376千円

市民と行政の連携と協働によるまちづくりを推進するため、市民と職員合同の講演会や、NPO団体の交流会を開催するとともに、地域課題の解決に向けたコミュニ

ティビビジネスの講座を開設します。

地域ポイント制度事業

3,006千円

市民活動に対して新たな価値を付加して流通させる地域ポイント制度により、市民参加機会の拡充や新たな人材発掘、継続的な市民活動への支援を行い、市民活動のやりがいや楽しさを創出します。



▲地域ポイント制度
ポイント加算端末



▲地域ポイントカード

市民活動助成事業(市民活動団体自立促進・地域活性化事業費助成)

2,010千円

市民と行政の連携による協働のまちづくりを推進し、市民活動や地域のコミュニティ活動の活性化を図ります。また、市民自らがまちづくりの主体として活動するために必要な経費を助成します。

議会中継配信事業(本会議のライブ・録画映像インターネット配信)

新規

4,171千円

議会改革のひとつとして、本会議のライブ中継および録画中継を

配信することにより、開かれた議会を目指すとともに、傍聴に訪れることができない方に情報を提供します。



本会議場

笠間まちなかガイドシステム構築事業 新規

5,366千円



笠間まちなかガイドシステムの操作画面

本市の魅力ある観光資源や地域資源の情報提供、また災害発生時には避難誘導などの行政情報を発

信する新たな媒体として、「産・官と地域」が連携し、スマートフォン等で利用できる「笠間まちなかガイドシステム」を構築します。

収納対策事業(市税・国民健康保険税・介護保険料) 51,722千円

自主財源や税負担の公平性を確保するため、納付催促や訪問、財産調査、差押えなどの滞納処分を行い、市税等の徴収率の向上を図ります。また、納税の利便性を高めるため、口座振替による納付を促進します。

市有財産管理事務(公有資産の管理活用の推進) 拡充 6,475千円

総務部内に「資産経営課」を新たに設置し、未活用財産の売却等を含めた対応や、老朽化等により今後更新時期を迎える施設への対応など、公有財産管理のあり方を検討します。

教育委員会庁舎整備事業

新規

359,100千円

本所敷地内に教育委員会庁舎(2階建て)を建設します。平成27年度の早い時期の完成を目指し、建設工事に入ります。

【問合せ】

企画政策課(内線212)

平成26年度予算

一般会計・特別会計・企業会計を合わせた平成26年度の予算総額は、504億9,815万1千円となっています。予算編成に当たっては、限られた財源の中、重点的かつ効率的な予算配分に努め、特に「健康都市かさま」の推進と、「市街地活性化」の推進に重点を置いた予算編成をしました。

一般会計

一般会計は、市税や地方交付税をはじめ、国・県からの補助金や交付金などを財源として、福祉・土木・教育・衛生などの基本的な施策を行う会計です。

平成26年度の一般会計予算は、282億5,000万円となっています。

歳入

自主財源のうち、市税は87億9,436万4千円を見込んでいます。依存財源の地方交付税は61億5,910万円、国庫支出金については36億7,566万6千円を計上しました。このほかの歳入についても、適切な見通しのもとに計上していますが、今後とも積極的に財源の確保を図っていきます。

歳出

限られた財源のもと経費の節減に努め、各種施策に効果的な予算配分を行

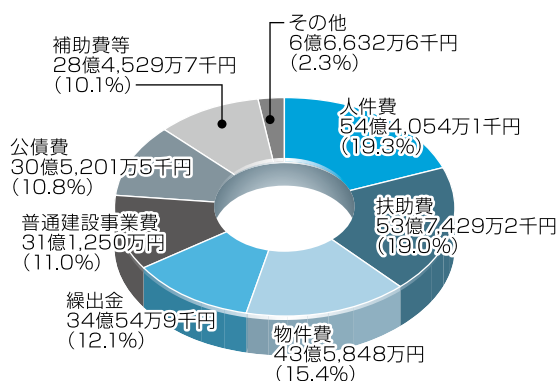
いました。

民生費には、高齢者の福祉対策、障害者の入所・通所等の支援、子育て支援対策として児童手当、乳幼児や重度心身障害者等の医療扶助、生活保護などの経費として94億9,266万2千円を計上しました。

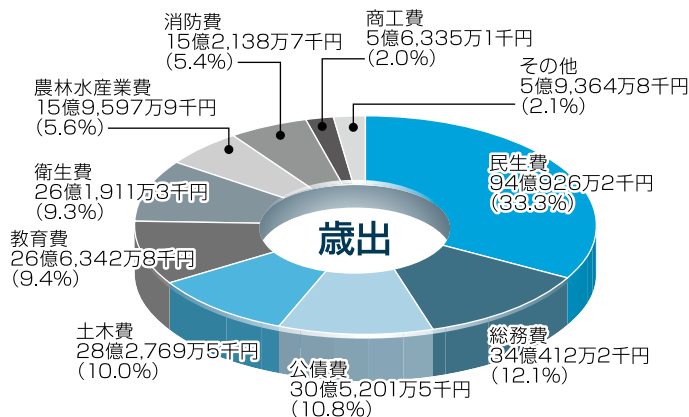
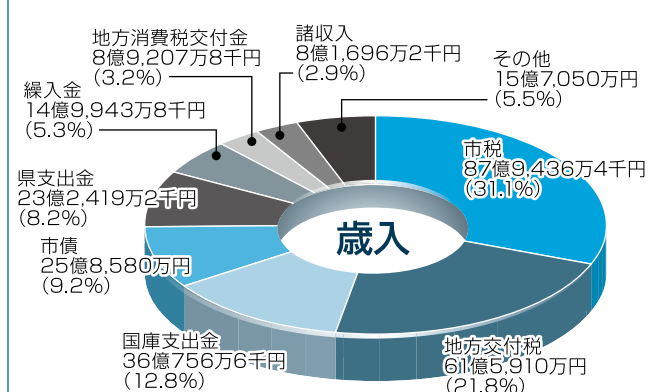
総務費には、教育委員会庁舎の整備費、市長や市議会議員選挙などの選挙費、行政区管理防犯灯の整備費や地域交流センターの設計業務費など34億4,122万2千円を計上しました。

土木費には、生活の基盤である道路の改良工事費や、市内幹線道路の新設工事費、公共下水道事業等への繰出金など28億2,769万5千円を計上しました。

歳出予算性質別内訳



一般会計 282億5,000万円



オカリナの奏で
宗次郎の世界
2014年7月19日(土)
アンナバレンナ大聖堂にて
昼公演 / 受付13時～・開演13時30分～
夜公演 / 受付15時30分～・開演16時～
全席指定 / 3000円 チケット販売中
チケット受付
電話番号 パークスガーデンプレイス
TEL0296-78-1122 (受付時間10:00～19:00)

パークスに☆夏☆限定
おトクなプランが誕生!
NATSUプラン
対象挙式日 / 2014年7月21日～9月7日まで
その1 70名様以上の結婚式で! 総額100万円相当割引
2つの選べる演出サービス&タキシード・白ドレスレンタル料金サービス&会場費無料
その2 小さな結婚式でも! 平日 教会式 39,800円(税込)
※ただし挙式後に10名様以上30名様までの会食・披露宴をしていただける方が対象
詳しくはお問い合わせください

親子2世代 婚礼プラン
ご両親が当館で結婚式を挙げられた
お子様が結婚する場合(友部グリーンビュー様含む)
50名様で75万円相当 割引
80名様で100万円相当 割引
・・・GWブライダル相談会・・・
4月29日(火)～5月2日(金)、4日(日)～6日(火)
13時～17時 ※要予約

結婚相談所
縁結び
ご相談
身上書ご持参
入会金無料
年会費無料
HPから
身上書DL
可能!
個人情報厳守

市民一人当たりに使われるお金

※平成26年2月28日現在人口
(住民基本台帳) 78,882人で算出

合計358,130円

教育費

各小中学校や公民館・図書館の運営など



33,765円

土木費

市道の整備・補修や公共下水道の整備など



35,847円

公債費

市債の元金・利子の返済



38,691円

総務費

税金の賦課、戸籍や住民登録の経費、広報紙の発行など



43,155円

民生費

高齢者・障害者福祉対策や医療福祉など



119,283円

その他

議会費や諸支出金



7,525円

商工費

商工業施設や観光施設管理など



7,142円

消防費

消防団や防災施設整備費など



19,287円

農林水産業費

農林業振興支援や農地の基盤整備など



20,232円

衛生費

予防接種や各種健診、ごみ処理事業など



33,203円

■特別会計

区 分	予 算 額
国 民 健 康 保 険	90億5,800万円
後 期 高 齢 者 医 療	6億9,100万円
介 護 保 険	56億4,400万円
介 護 サ ー ビ ス	2,460万円
公 共 下 水 道 事 業	26億300万円
農 業 集 落 排 水 事 業	8億2,400万円
岩間駅東土地地区画整理事業	9,064万5千円
特別会計合計	189億3,524万5千円

▲ 特別会計は、国民健康保険や介護保険、公共下水道事業などの特定事業を行う場合、それぞれの特定収入で運営していく独立した会計のことです。

■企業会計

区 分	予 算 額
病 院 事 業	7億100万6千円
収益的支出	6億9,400万円
資本的支出	700万6千円
水 道 事 業	25億7,756万4千円
収益的支出	19億4,100万円
資本的支出	6億3,656万4千円
工業用水道事業	3,433万6千円
収益的支出	2,980万円
資本的支出	453万6千円
企業会計合計	33億1,290万6千円

▲ 企業会計は、事業から得る収益を主な財源として、運営していく会計のことです。本市では、病院事業、水道事業および工業用水道事業の3会計があります。

一 般 会 計 282億5,000万円

企 業 会 計 33億1,290万6千円

特 別 会 計 189億3,524万5千円

予 算 総 額 504億9,815万1千円

START 合格だ

<http://www.tokotonkyoshitsu.com>



日立校 ☎0294246373 大みか校 ☎0294542215 多賀校 ☎0294352415 小水津校 ☎02944436208 十王川原校 ☎0294391255 高萩校 ☎0293207711 磯原校 ☎0293436455 大津校 ☎0293466555 水戸校 ☎0292531722 ひたちなか校 ☎02912738655 那珂校 ☎02912981588 東海校 ☎0292877123 常陸太田校 ☎0294721200 筑西下館校 ☎0296255445 笠間友部校 ☎0296785560 笠間稲荷校 ☎0296721466

私たちが、友部&笠間の生徒たちを応援しています



成功への真現 松井真一先生
しあわせな人生へ 田口秀美先生
目標高くあれ 飯嶋信彦先生
と・こ・と・ん・教・室
入会金無料
期間限定4月30日(木)まで
平成進学アカデミー

平成
26年

ゴールデンウィーク期間のごみ収集および尿浄化槽日程

笠間地区については収集日に変更がありますので、ご確認ください。

笠間地区					友部・岩間地区				
可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	事業系持込	個人持込	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	事業系持込	個人持込
30日に 振替			休み		29日 火	○		○	○
○ +29日分			○		30日 水			○	○
○	○	○	○		1日 木	○		○	○
○	○	○	○		2日 金	○		○	○
○	10日に 振替	10日に 振替	休み	休み	3日 土				
					4日 日				
○	12日に 振替	12日に 振替	休み		5日 月	○		○	○
7日に振 替	13日に 振替	13日に 振替	休み		6日 火	○		○	○
○ +6日分	○	○	○		7日 水		○	○	○

○し尿・浄化槽汲み取りは全地区とも、4月29日および5月3日から5月6日までお休みとなりますので、お早めに連絡してください。

【問合せ】笠間地区：(株)博相社 (Tel.72-6670)
友部地区：(有)茨城友清 (Tel.029-259-4817)
(株)笠間保全 (Tel.77-1010)
岩間地区：(株)笠間保全 (Tel.45-2249)

学校適正配置通信⑦

【問合せ】学務課（内線373）

教育委員会ホームページ

<http://www.ed.city.kasama.ibaraki.jp/kyoiku/>

■学校統合準備委員会の開催状況報告

小学校の総務・通学部会が2月18日（火）、中学校の総務・通学部会が19日（水）に開催されました。今回の部会では、これまでの意見・要望を反映させた通学バスルート（再案）について協議をしていただきました。

笠間市教育委員会では、この案を基に利用希望アンケートを東小・佐城小・箱田小・東中の在校生を対象に3月に実施しました。その結果を踏まえて、バスルートを確定していきます。

■閉校になる学校に通学している児童生徒の保護者の皆さんへ

笠間市教育委員会では、今回の学校統合により制服やジャージ、学用品などの買い替えが必要になる児童生徒の保護者の方に補助制度を整えました。補助の対象者は、平成26年度の東小・佐城小・箱田小の1～5年生、東中の2年生です。今後、対象となる保護者の方に、補助についての説明会を開催します。詳しい日程については、学校を通してお知らせします。

■各学校の閉校に向けた動き（閉校記念事業実行委員会）

平成27年度の学校統合により閉校になる東小・佐城小・箱田小・東中では、それぞれに地域や保護者の代表、学校教職員からなる閉校記念事業実行委員会を組織し、閉校に向けた準備を進めています。それぞれの実行委員会で地域性を生かした閉校記念行事や記念誌の発行、記念碑の設置などを行っていきます。



やさしい保険プラザ

友部スクエア店

笠間市住吉1364-1

☎ 0120-650-121

営業時間 10:00～20:00

暖かい春がやってきました。

子ども達も新学期が始まり、ドキドキワクワクの毎日ですね♪

“やさしい保険プラザ友部スクエア店”では子育て家族を応援しています。

当店も「いばらき Kids Club」カード協賛店となりました。カードを提示していただくと、ご来店のお子様に風船をプレゼント。お気軽にご来店ください。



また、キッズコーナーやベビーベッドも用意していますので、小さなお子様連れでのご相談も安心です。女性ファイナンシャルプランナーが担当させていただきます。来店相談料は何度でも無料です。



障害者災害支援者の登録について

笠間市では、防災体制および災害時の支援体制の強化を図るため、災害時の支援者リストの作成を進めています。
つきましては、障害手帳をお持ちの方で災害時支援者リストに登録を希望される方は、次の注意事項をご理解のうえ、「登録同意書」を提出してください。（※一度登録された方は、登録の必要はありません。）

【登録対象者】 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方

【申請方法】 窓口にある申請同意書に記入のうえ、提出してください。

【注意事項】 ・作成する名簿については、市職員および民生委員等関係団体関係者が所有します。
・災害発生時に登録者の安否確認や支援等を優先させるために使用します。

【問合せおよび申請先】 社会福祉課（内線155）・笠間支所福祉課（内線72131）・岩間支所福祉課（内線73172）

障害関係各種手当について

障がいのある方が地域で自立した生活をしていくため、経済的負担を少しでも軽減できるように次のような手当があります。

特別児童扶養手当

身体または精神に障がいのある20歳未満の児童を家庭で養育している保護者に支給します。

○対象者

身体障害者手帳（1・2・3級）および4級（下肢障害）又は療育手帳④、A・B程度の方および同程度の精神障がいのある方

○手当額

1人につき月額 1級（重度）49,900円
2級（中度）33,230円

○支給方法

年3回（4月期・8月期・12月期）指定銀行口座に振込みとなります。

○支給制限

前年の所得が一定額以上の場合／児童が障がいによる公的年金を受けた場合

○手続き

認定請求書、戸籍謄本、住民票（世帯全員）、診断書、手帳、印鑑

特別障害者手当

身体または精神の障がいにより重度または重複しているなどのため日常生活において常に特別の介護を必要とする20歳以上の方に支給します。

○対象者

身体障害者手帳1級、療育手帳④程度の方で重複した障がいのある方

○手当額

月額 26,000円

○支給方法

年4回（2月・5月・8月・11月）指定銀行口座に振込みとなります。

○支給制限

前年の所得が一定額以上の場合
福祉施設等へ入所している場合
病院等に3か月を越えて入院している場合

○手続き

手帳、診断書（特別障害者手当用）、印鑑

障害児福祉手当

身体または精神に重い障がいがあるため、日常生活において常に介護を必要とする20歳未満の方に支給されます。

○対象

身体障害者手帳1級、療育手帳④程度の方

○手当額

月額 14,140円

○支給方法

年4回（2月・5月・8月・11月）指定銀行口座に振込みとなります。

○支給制限

保護者の前年の所得が一定額以上の場合
児童が障がいによる公的年金を受けた場合
福祉施設等へ入所している場合

○手続き

手帳、診断書、印鑑

笠間市在宅心身障害児福祉手当

笠間市に居住する20歳未満の心身に重度の障がいのある児童と同居・養育している方に対して支給します。

○手当額

月額 3,000円（身体障害者手帳1級・2級、療育手帳④・A・特別児童扶養手当1級・精神障害者保健福祉手帳1級）

月額 1,500円（身体障害者手帳3級・療育手帳B・特別児童扶養手当2級）

○支給方法

年2回（3月・9月）指定銀行口座に振込みとなります。

○支給制限

障害児福祉手当を受けている場合、福祉施設等へ入所している場合、前年の所得が一定額以上の場合

○手続き

手帳、印鑑

難病患者見舞金

難病疾患の方の心身の安定のために見舞金を支給します。

○対象者

笠間市に住所があり、茨城県が実施する一般特定疾患治療研究事業に基づく医療給付を受けている方（一部疾病名を除くため、詳しくは社会福祉課までお問い合わせください。）

○手当額

月額 3,000円

○支給方法

年2回（3月・9月）指定銀行口座に振込みになります。

○手続き

一般特定疾患医療受給者証の写し、印鑑

障害者扶養共済制度

障がい児（者）の将来に対し、保護者の抱く不安の軽減を図ることを目的とし、保護者が毎月掛金を納入して、保護者に万一のことがあった場合に残された障がい児（者）に終身一定額の年金を支給する制度です。

○対象者

1～3級の身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳または療育手帳を所持する障がい児・障がい者の保護者（父母、配偶者、兄弟、姉妹、祖父母、その他の親族等）で県内に住所があり特別の病気や障がいを持たない精神疾患、難病を含む4月1日現在65歳未満の方

○掛金

保護者の加入時の年齢により9,300円～23,300円まで7段階に分かれています。

○年金支給額

1口加入の方 月額20,000円

2口加入の方 月額40,000円

また、障がい児（者）が死亡した場合は、弔慰金が支給されます。

○手続き

加入等申込書、住民票謄本、申込者告知書、障がいの種類・程度を証明する書類（身体障害者手帳、療育手帳等）、年金管理者指定届書（障がいのある方が年金を管理することが困難な場合）、印鑑

*手当は、申請により支給されますので、新たに該当される方は、窓口までお問い合わせください。

【問合せおよび申請先】

社会福祉課（内線154・155・156）

笠間支所福祉課（内線72132）

岩間支所福祉課（内線73173）

笠間市まちづくり市民活動助成事業 を募集します

市民公募の提案事業に対する補助事業

地域の特性を活かし、市民活動の活性化を図ることを目的に、市民自らがまちづくりの主体として活動していくために必要な経費に対して助成金を交付します。

◆応募資格

助成の対象となる団体は、次の各号のすべての要件を満たす団体とします。

- (1) 営利を目的とせず、不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とする活動を行う団体
- (2) 前号の活動を自主的にいき、継続して行う見込みがある団体
- (3) 活動拠点が市内にあり、地域に根ざした活動を行う団体
- (4) 5人以上の構成員がいる団体

※ただし、宗教活動、政治活動もしくは選挙活動を行う団体については、助成の対象としません。

◆助成金の額

事業区分		年度区分	補助率等	助成限度額
自立促進事業		単年度	必要な経費(1団体1回限り)	10万円
事業 地域 活性化	単年度助成希望事業	単年度	必要な経費のうち、事業費の3分の2 以内の額又は30万円	30万円
	2年継続助成希望事業	2か年		45万円(2か年の合計額)
	3年継続助成希望事業	3か年		60万円(3か年の合計額)

※原則 千円未満は切捨て

◆採択件数

自立促進事業1件以内、地域活性化事業2件以内を基準とし、予算の範囲内で決定します。

【問合せ】市民活動課(内線132)

◆対象となる事業

次のいずれかに該当し、交付決定後、概ね平成26年6月から平成27年3月までに実施する事業

- (1) 自立促進事業：市民活動団体の設立や法人化するなど、市民活動団体の自立をめざす活動など
- (2) 地域活性化事業：さまざまな課題を自主的に解決したり、地域間交流、地域資源を活用したまちづくり事業

◆審査基準

まちづくり市民活動助成金審査会で、別に定める審査項目(6項目)により、書類審査(1次)および、申請団体の代表者から直接プレゼンテーション(2次:5月22日実施)をしていただき決定します。

◆応募の手続き

笠間市まちづくり市民活動助成事業希望調書、団体説明書、活動写真等を5月16日(金)までに《市民活動課》へ提出してください。

かぽか♪ KapoCa 提案事業への還元受付を開始します

①団体名 ②事業内容 ③事業予算 ④助成希望額

社会実験中から継続して貯めた皆さんのポイントは、公募により決定した以下の提案事業に寄付することができます。
“1ポイント”から寄付することができ、一人では少ないポイントでも皆さんが協力することで提案事業の実施につなげていくことができますので、市民活動課、または各支所地域課にてお手続きをお願いします。【カード所有者本人のみ】

1. 笠間俳句ポスト事業

- ①笠間俳句ポスト運営委員会
- ②笠間の菊まつり協賛の一環として、俳句文化の興隆に役立てるため、市内数箇所に設置されている俳句ポストの広報周知を図り、多数の応募を呼びかけ、審査会における審査を経て入選作品を決めて表彰するもの
- ③278,000円 ④100,000円 [2,000ポイント]

2. スクエアステップ交流会

- ①笠間市スクエアステップ・リーダー会
- ②市内に限らず近隣の市・町からも60歳以上の高齢者に自由に参加していただき、各支部のステップ体操の披露やボールゲーム、ダンスなどを楽しんでいただくもの
- ③124,000円 ④100,000円 [2,000ポイント]

3. 笠間野菜のブランド化事業

- ①NPO法人グラウンドワーク笠間
- ②市内の農家が生産した『笠間野菜』を『京野菜』や『鎌倉野菜』のようなブランディング化(差別化)することで県内をはじめ、世界的にも発信し、拡販を推進する事業
市内の「耕作放棄地」を活用するとともに「若い人の農業への就労支援」を図りながら「まちおこし」に貢献していくもの
- ③300,000円 ④100,000円 [2,000ポイント]

4. ボランティアサークル四つ葉 ユニホーム作成事業

- ①配送「四つ葉」(笠間市社会福祉協議会岩間支所 所属)
- ②社会福祉協議会の配食サークルとして活動をしているが、自分たちの目印でもある黄緑色のジャンパーを新調する事業
- ③75,000円 ④75,000円 [1,500ポイント]

5. 世界に羽ばたく子ども達を育てる事業

- ①IFK (Innovation From Kasama) 笠間市青年海外派遣者の会
- ②就学前から英語教育などを無料で楽しく世界の文化や習慣、遊びなどを習得してもらうことで、一人でも多くの子どもに世界のことを知って羽ばたいてもらうもの
◆外国人講師を招いての外国語による体験学習
◆「ふるさとまつりinかさま」でのイベントブース出展など
- ③80,000円 ④70,000円 [1,400ポイント]

その他

1. 市民貸出用簡易テント購入事業 1500ポイント
2. 市民貸出用公用車経費支払 20ポイント～

【問合せ】市民活動課(内線132)

平成26年4月1日笠間市人事

(部課長級・新規採用職員・退職者)

市長公室

市長公室長 橋本 正男

秘書課長 友水 邦彦

企画政策課長 後藤 弘樹

行政経営課長 清水 博

総務部

総務部長 塩畑 正志

総務課長 野口 文男

資産経営課長 笹ノ間 宏

笠間支所長兼笠間支所地域課長 飯村 茂

岩間支所長兼岩間支所地域課長 海老沢耕市

財政課長 石井 克佳

税務課長 岡野 正則

市民生活部

市民生活部長 山田 千宏

市民活動課長 内桶 克之

市民課長 柴田 常雄

市民課副参事 (笠間地方広域事務組合)

環境保全課長 増渕 要

環境保全課副参事 友部 邦男

環境保全課副参事 (笠間・水戸環境組合)

環境保全課副参事 児玉 昭一

(茨城県環境保全事業団)

笠間支所市民窓口課長 吉田 貴郎

荒川 孝次

岩間支所市民窓口課長 小嶋 好文

福祉部

福祉部長兼福祉事務所長 櫻井 史晃

社会福祉課長 小田野恭子

子ども福祉課長 中村 一男

高齢福祉課長 鷹松 丈人

笠間支所福祉課長 堀川 要一

岩間支所福祉課長 萩原 修

保健衛生部

保健衛生部長 安見 和行

健康増進課長 青柳 京子

健康増進課長 下条かをる

笠間市立病院

市立病院院長 石塚 恒夫

市立病院副院長 武井 泰彦

市立病院事務局長 打越 勝利

市立病院事務局経営管理課長 三次 登

産業経済部

産業経済部長 神保 一徳

農政課長 山中 賢一

農政課副参事兼農政企画室長 磯 祐一

農村整備課長 池田 昌美

農工商観光課長 鈴木 武

農工商観光課副参事 小沢 敦

都市建設部

都市建設部長 竹川 洋一

建設課長 市村 勝巳

管理課長 鯉淵 賢治

都市計画課長 青木 理重

まちづくり推進課長 中村 公彦

上下水道部

上下水道部長 藤枝 泰文

水道課長 岡野 晃久

下水道課長 小河原英夫

会計課

会計管理者兼会計課長 中庭 要一

議会事務局

議会事務局次長 石上 節子

議会事務局次長 飛田 信一

農業委員会事務局

農業委員会事務局次長 西山 幸男

監査委員事務局

監査委員事務局次長 西連寺洋人

公平委員会事務局次長

教育委員会

教育次長 園部 孝男

学務課長 大月 弘之

学務課副参事兼教育企画室長 渡部 明

指導室長 金澤 彰

生涯学習課長 米川 健一

生涯学習課副参事兼 笠間公民館長 鈴木 倫孝

生涯学習課副参事兼 笠間図書館長 石井 淳

生涯学習課副参事兼 笠間図書館長 丸地 真人

生涯学習課副参事兼 笠間図書館長 松田 輝雄

生涯学習課副参事兼 笠間図書館長 松田 輝雄

生涯学習課副参事兼 笠間図書館長 松田 輝雄

生涯学習課副参事兼 笠間図書館長 松田 輝雄

生涯学習課副参事兼 笠間図書館長 松田 輝雄

生涯学習課副参事兼 笠間図書館長 松田 輝雄

生涯学習課副参事兼 笠間図書館長 松田 輝雄

生涯学習課副参事兼 笠間図書館長 松田 輝雄

生涯学習課副参事兼 笠間図書館長 松田 輝雄

生涯学習課副参事兼 笠間図書館長 松田 輝雄

消防本部通信指令課長

消防本部通信指令課長 田口 信助

笠間消防署長 杉山 洋一

友部消防署長 深作 孝一

岩間消防署長 宮澤 秀門

新規採用職員(配属先)

篠原 一貴(秘書課)

中村 裕樹(行政経営課)

入江紗友美(総務課)

郡司 洋直(資産経営課)

山本 裕巳(財政課)

畑山 和輝(税務課)

市毛 萌(税務課)

藤田 明博(税務課)

齋藤 史歩(市民活動課)

神崎 理恵(市民課)

綿引 慎吾(環境保全課)

増渕 優(社会福祉課)

木村 周平(子ども福祉課)

三ツ石泰大(高齢福祉課)

近藤 沙耶(てらぎ保育所)

川上 夏美(いなだ保育所)

米川 敦子(保険年金課)

後閑 良平(市立病院)

本多 淑恵(市立病院)

廣瀬 りか(市立病院)

大内 祐子(市立病院)

石井 彩(農政課)

萩谷 太一(商工観光課)

青柳 遥介(建設課)

酒井 一典(建設課)

坪井 勇樹(管理課)

清水 和晃(都市計画課)

塩幡 英伸(水道課)

宮本 俊寛(下水道課)

渡部 鉄平(学務課)

小嶋 理美(生涯学習課)

市毛 秀宗(笠間消防署)

塙 昇嗣(笠間消防署)

亀山 浩平(友部消防署)

小森 匠(友部消防署)

一條 悠歩(岩間消防署)

坏 浩二(岩間消防署)

高瀬 大輔(岩間消防署)

3月31日付退職者

深澤 悌二 福田 敏秀

小坂 浩 米澤 裕子

小松崎 栄一 西野 敏夫

藤田 幸孝 高輪 英子

高安 行男 阿久津英治

伊勢山 正 中沢 英夫

塙 栄 青木 秀夫

木村 秀夫 大月 英夫

森 幸信 石井 洋子

佐久間智通 潮田 浩

友部 信夫 入江いみ子

井川 富美 磯部 義美

河原井規夫 岡本 文子

枝川 良雄 松田 圭一

小松 芳江 小幡 通

小坂 久子 藤枝 清一

小林 道雄 額田 幹夫

稲田 稔 掛札久美子

片山 典美 神崎 淑行

内桶美代子 小森 清

常楽美和子

塩田 勝巳

「石の百年館」がオープン

3月30日（日）、稲田石の振興、観光交流の促進および地域活性化を図るため、JR水戸線稲田駅わきに「石の百年館」がオープンしました。

☆石の百年館について

「石の百年館」という名称には、約100年にわたり先人たちが築き上げた稲田地区の採石の歴史を広く後世に伝え、さらに100年先の発展につなげたいという願いがこめられています。

印象的な外壁は、結城紬にもみられる日本伝統の「杉綾文様」でデザインされ、稲田石材業の加工技術の高さを物語っています。

館内は、稲田石にまつわる貴重な資料がわかりやすく解説・展示されているほか、JR稲田駅隣接という立地を活かし、観光交流センターとしての機能も備えます。

☆稲田石について

笠間市稲田地区を中心に採掘される「稲田石」。恐竜が絶滅した後の時代、約6千万年前に地下深くに貫入したマグマが固まってできた岩石で、花崗岩の一種です。際立った白さが特徴の稲田石は、美しい光沢と耐久性を兼ね備え、建材や墓石など、幅広い用途に使われてきました。

稲田石の本格的な採掘が始まったのは明治22年。大消費地である東京に近く、良質な花崗岩を豊富に埋蔵していたことから、国会議事堂、国立代々木競技場、最高裁判所など、日本を代表する数々の建築物に稲田石が使用され、日本の発展を支えてきました。

【施設概要】

所在地：笠間市稲田2307番地
TEL/FAX：0296-74-5114
開館時間：（4月～9月）
午前9時から午後5時まで
（10月～3月）
午前9時から午後4時まで
休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日）・
年末年始
入館料：無料

【アクセス】



記念式典の様子



稲田石の貴重な資料を展示

地域おこし協力隊イベントで焼き芋体験

笠間市地域おこし協力隊の舟越芳行さんと、本戸地区で微生物を使った無農薬栽培を営む団体「Kamos（カモス）」が、焼き芋体験のイベントを開催しました。

2日間にわたって実施されたイベントにはそれぞれ約50名の参加申し込みがあり、^{もみがらくんたん} 粉殻燐炭でじっくり焼いた甘い焼き芋を楽しみました。

また、焼き芋を焼いている合間に行われたいちご収穫体験では、集まった子どもたちが新鮮で甘いいちごを口いっぱい頬張って、うれしそうな表情を見せていました。



粉殻燐炭を使った焼き芋体験

茨城県議会議長賞を受賞

2月1日（土）に茨城県立図書館で「第12回読み聞かせコンクール」が開催され、中学生の部で、水越日向子さん（東中学校1年）が県議会議長賞を受賞しました。

水越さんは「海を渡った折鶴」という作品で、原爆の後遺症で苦しんでいた女の子の気持ちや平和への願いを、登場人物の気持ちになりきって読み上げたとのこと。

市内のまゆみ朗読会ジュニアクラブに所属する水越さんは、小学5年生から朗読劇に出演しています。「標準語で話すことや、鼻濁音をきれいにすることが難しかった。次は違った物語にも挑戦したい。」と、今後の意気込みを語りました。

※学年は2月現在



受賞した水越さん

茨城県立中央病院ドクターカー運用開始

救命率の向上および後遺症の軽減を図ることを目的に、2月26日（水）茨城県立中央病院と笠間市がドクターカー運行に関する協定を締結しました。

ドクターカーは、赤色灯、サイレン、医療機器を装備して県立中央病院の救急センターに常駐し、消防本部や救急隊からの出動要請により、救急現場に医師・看護師を素早く送り届けます。緊急患者への適切な治療をいち早く行うことで、心筋梗塞・脳卒中・重症外傷症例および多数傷病者発生事故等の際の救命率の向上や後遺症の軽減に大きな効果が期待できます。



ドクターカーの前で山口市長と握手をかわす永井院長（右）と関根医師（中央）

KASAM
TOP

まちの

火災予防ポスターコンクールで最優秀賞受賞



山口市長へ受賞報告
（写真右から2人目が白井さん）

2月19日（水）、茨城県幼少年婦人防火委員会（会長・橋本昌知事）が主催する「第31回火災予防ポスターコンクール中学生の部」において、応募総数6,432点の中から白井悠華さん（笠間中学校2年）の作品が、最優秀賞に輝きました。

このポスターコンクールは、県内の小中学生から火災予防ポスターを募り、優秀作品を活用して火災予防広報を行い、一般家庭の火災予防啓発を図ることを目的として、毎年実施されています。

※学年は2月現在

平成25年度 笠間市表彰

3月20日(木)、平成25年度笠間市表彰が市役所本所で行われました。これは、市政の発展に功績があった方々を表彰するもので、行政、経済、文化、社会などの各分野で多大な貢献をされた10名および6団体が受賞されました。また、災害廃棄物受入れについて、地元対策協議会として協力されたエコフロンティアかさま福田地区対策協議会に感謝状が贈られました。

自治功労表彰

中庭 秀樹さん(上市原)

教育委員会委員長として学校教育および教育行政の充実振興に取り組み、市の教育の発展に貢献されました。

一般表彰

天 牙子さん(下市毛)

長年にわたり、笠間市体育協会弓道部長として弓道の普及および奨励に尽力し、体育振興の充実に貢献されました。

井坂 守さん(笠間)

長年にわたり、笠間市スポーツ推進委員として陸上を中心にスポーツ振興および推進に貢献されました。

中澤 初夫さん(南吉原)

長年にわたり、無事故無違反の模範となる優良運転者として、最上位の交通安全章緑十字金章

を受賞し、交通安全における市民の模範となりました。

畑岡 里穂さん(福田)

「全国中学生防火防災に関する作文コンクール」で第2位の優秀賞を受賞し、広く市民の消防活動意識の啓発に貢献しました。

友部 光貴さん(南友部)

橋本 玲央さん(南小泉)

全国中学生創造ものづくり教育フェアの「生徒作品コンクール」(技術部門)で、2人の共同作品「ぐるぐる調味料入れ」が第1位となる文部科学大臣賞を受賞されました。

白土 りかさん(南友部)

成田山全国競書大会において、文部科学大臣賞を受賞し、この受賞で、日中友好少年少女書道交流団として8月に5日間、中国に派遣されました。

畑岡 奈紗さん(土師)

インドネシアで開催されたエシジョイ・ジャカルタ・ワールドジュニア選手権大会2013(ゴルフ競技)に日本代表として出場し、見事第2位の成績を収めました。

小沼 萌さん(土師)

文部科学省が指定する理数系教育の先進校「スーパーサイエンスハイスクール(SHS)」の生徒が集まる研究発表会で、「アカガエル2種の繁殖期の研究」を発表し、最高賞の文部科学大臣表彰

を受賞されました。

ひまわりの会

(代表 野澤 信さん)

多年にわたる「道路の美化活動」が特に顕著な団体であると認められ、平成25年度道路ふれあい月間(8月)にあわせて国土交通大臣感謝状を授与されました。

原宿の環境をよくする会

(代表 田中 昭さん)

農村環境の保全と質の向上に向けた取り組みを、農業者と地元NPO法人が協力して地域内交流を促進し、現在では地域一体となって農村環境の保全に貢献されました。

ごみを考える会

(代表 菊地 寿代さん)

長年にわたり、フリーマーケット、こどものエコ教室、廃食油からの石けん作り、市内清掃などの環境美化活動、市民を対象とした環境先進企業などへの視察研修や出前講座の開催に取り組み、市の環境保全の充実に貢献されました。

かさま環境を考える会

(代表 一柳 克平さん)

長年にわたり、不法投棄や河川の水质調査、自然探索路の整備、動植物の自然観察会の開催など、市の環境保全の充実に貢献されました。

笠間市立岩間第三小学校スナックゴルフ部

(代表 大川 正浩さん)

仙台市で開かれた(二社)日本ゴルフツアー機構主催の第11回スナックゴルフ対抗戦JGT O

カップ全国大会において、見事準優勝に輝きました。

茨城陸上競技協会

(会長 関山 由雄さん)

かさま陶芸の里ハーフマラソン大会を、日本陸運公認コースとしての大会開催にあたり、共催・主管団体として万全の体制で競技運営に臨み大会を成功裏に導かれました。

感謝状

エコフロンティアかさま福田地区対策協議会

(会長 川崎 勝美さん)

東日本大震災による災害廃棄物受入れについて、エコフロンティアかさまの地元対策協議会として協力され、東北被災地の復興に大きく貢献されました。



表彰された皆さん

医療法人社団栄進会 介護老人保健施設

笠間シルバーケアセンターパル

入所・短期入所・通所リハビリテーション
(通所リハビリテーションはまだ余裕あり!!)

茨城県笠間市来栖255-1

TEL 0296-70-1185/FAX 0296-72-3110

URL <http://www.k-pal.or.jp/>

畳工房ニタイラ



見積り無料

すべて国産品!!

- ・畳表替え……………3,900円～
- ・襖張替え……………2,800円～
- ・障子張替え(大) 1,780円～
- ・アミ戸張替え(大) 2,100円～

暖かくなってきましたね。
新年度、畳を張り替えて
気持ちを明るくしてみては!!

畳張り替え **10%OFF**

笠間市小原1216 TEL.0296-77-7845

笠間市地域おこし協力隊 活動報告

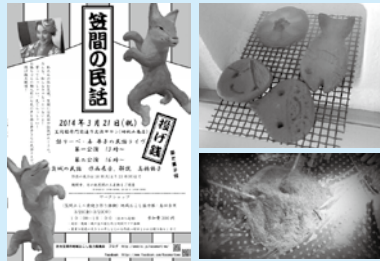
No.8

2013年度活動の振り返りと抱負



プロフィール

しまだ なみ
島田 奈実 (24歳)
埼玉県より移住



交流サロンでの企画や
福来みかん商品の試作

手探りで模索しながら地域を知る

協力隊として笠間市にやってきてから1年が経とうとしています。最初は何をどのように始めて良いか分からず思い悩むこともありましたが。

しかし、地域と関わり続けることで「一緒に〇〇をやりたい」との提案を聞いた時、とても嬉しく思いました。

今年度は悩みつつも楽しみながら、取り組んでいる活動について、より具体的に実現していきたいです。また、同時に今後も地域の魅力の掘り起こしは続けます。

今年度も、どうぞよろしくお願いいたします。



◀地域おこし協力隊
全国サミットで笠間のPR

プロフィール

なかじま りょうこ
中島 良子 (44歳) 東京都より移住

笠間の魅力

2013年4月より移住し、早1年が経ちました。笠間の文化や風土、『笠間の人』の魅力を大勢の方から学び、そして支えていただきました。本当にありがとうございました。

移住して来た当時はしっかり「標準語」だった私も今では「茨城弁」になり、話し言葉が分かりやすいと言ってもらえるようになりました。

これからもさらに笠間の「素晴らしさ」や「奥深さ」を探索しつつ、何よりも『笠間の人の魅力』を多くの方々に知っていただけるよう頑張りたいと思います。

これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

……地域おこし協力隊とは……

地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の意欲ある人材が地方へ移住（最長3年）し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動を行うものです。笠間市では平成25年度から3名の隊員を受け入れました。

ブログやフェイスブックもご覧ください。

▶ <http://ameblo.jp/kasamart-wa/>

▶ <https://www.facebook.com/Kasamartowa>



関東セキスイハイム工業株式会社 笠間市北吉原287



▲玉井さん

・働いているときの自分は
一心不乱

・市内で好きなスポットは
愛宕山（特に夜景）

▼作業風景



・社会人としての決意・目標を

まずは壁の生産ラインでまだ担当していない仕事も覚えて、ラインのすべての仕事を完璧にこなせるようになりたいです。また、建築や設備に関する技能士の資格取得にもチャレンジし、スキルを高め、より良い製品をお客様に提供できるように取り組んでいきたいです。仕事だけでなく地域の活動にも積極的に参加し、地元に貢献できる人になりたいと思います。

・どのような仕事を担当していますか
私が勤務する会社は、セキスイハイムの木質系ユニット住宅（ツーユーホーム）の生産工場です。私は住宅の重要な部分の一つである「壁」の生産ラインで働いています。その工程の中で、壁を構成する木枠の組立とその木枠に石膏板を張り付ける仕事を担当しています。

今回紹介するのは、北吉原にある関東セキスイハイム工業株式会社で働く玉井 真悟さんです。

〔笠間市在住・入社3年目〕

キラリ！

社会人

～がんばる企業
応援連絡会～

国際交流サロン

今月号から、新企画「世界の国技を見てみよう」を始めます。
4月は「イギリスの国技・クリケット」です。さあ、世界のことを知って交流を始めましょう。

国	イングランド	国技	クリケット
どんな競技か	起源は16世紀のイングランド。 1チーム11人の2チームがバットとボールを使って、半径が70メートルほどのオーヴァルと呼ばれる広い芝のフィールドで行う競技です。チームは攻撃と守備に分かれて、攻撃チームの打者がバットでボールを打ち、中央にあるピッチの反対側の端に走って触れると得点されます。試合時間は大会によって20インニングの試合から5日間続く長い試合まで様々です。試合中に優雅に英国紅茶をいただく時間を取ります。		
同じ国技の他国	インド、オーストラリア、ガイアナ、グレナダ、ジャマイカ、ジンバブエ、トリニダード・トバコ、パキスタン、バミューダ諸島、バルバド、等		



◀ 笠間でホームピジットを楽しむロシア出身の留学生

5月の国際交流情報

ホームタウンガイド

日時：4月29日～5月5日

午前9時30分～午後4時30分

会場：笠間の陶炎祭会場

笠間工芸の丘

茨城県陶芸美術館多目的広場

笠間稻荷神社

つつじまつり会場間ルート

☆5月の日本語教室の開講日

5月10日(土)・17日(土)・24日(土)

(友部公民館 午前10時～)

笠間市国際交流協会総会のホームタウンガイドのご案内

笠間市国際交流協会では、4月29日から5月5日までのゴールデンウィーク期間中に、外国人旅行者の観光案内を英語、フランス語、ロシア語、中国語、韓国語の多言語で行っています。エリアを3か所に分けて協会のロゴが入ったオレンジかグリーンのユニホームで巡回しています。

観光スポットへの道案内、店舗の案内などを主に、市内の情報をニーズに応じて提供します。どうぞ、ご利用ください。

問合せ：一般社団法人 笠間市国際交流協会 TEL090-2761-8711 (木村 美枝子)

市長コラム

新規採用職員

今年も新規採用職員が38名入庁しました。年齢は19歳から44歳まで幅広い年代の人材を採用しました。内訳は、男性25名、女性13名です。出身地は市内から20名、市外からは18名で、職種は一般行政職が28名、技術職は2名、医療職3名と消防職7名です。

ここ数年の傾向としては、女性の比率と社会人経験者の割合が多くなっています。

新人職員には当初に、公僕の精神で業務にあたるように訓示をし、研修を1週間程度行つて

から各課へ配属となります。

現在市では、職員教育の一環として毎年10名程度の職員を1年から2年の期間で、県や団体・JR等に派遣し、県からも数名程度本市へ派遣されるという人事交流を行っています。また、被災地支援として、職員2名の派遣も今年度で3年目に入りました。更に今年は、外国人の研修生を迎え入れたいと考えています。

職員にさまざまな経験を積ませることで、人間として成長し、幅広い知識や交流関係を築き、仕事に反映させて成果を出してもらいたいのです。

人材教育は、役所(公的)でも民間でも難しいものです。さまざまな取り組みをしていますが、工夫をしながら市の財産である職員の質の向上に取り組んでまいります。

「人は城、人は石垣、人は堀」
― 役所は人 ―

笠間市長
山口伸樹



▲ 採用内定者説明会(2月6日)

家族志向で行う地域包括ケア

―地域で家族セルフケア機能を支援する―

笠間市立病院 石塚 恒夫

家族志向ケアは、全人的医療の第一歩と考えられます。全人的医療では患者を生物学的側面（疾患（disease））だけでなく、家族背景や社会背景を持った心理社会的存在（病い（illness））として理解・共感することが求められます。家族志向ケアでは、家族を結婚で生まれる一つの生命体のようなものとして捉えます。家族という生命体は、子育て・子どもの独立・親の介護・配偶者の死・介護などの発達課題を乗り越えることで成長します。その移行期にはストレスがつきものであり、精神的もしくは身体的な「病い」が発生しやすくなります。しかし、家族の一人一人が自分の役割や考え方を変えることで、全体のバランスを保つことができるのです。これを家族のセルフケア機能と呼び、その機能が発揮できるよう支援するのが家族志向ケアです。

近年、家族の小規模化に加え、家族への従属より自立生活を重んじる個人主義的な家族規範が広まっています。子どもがいても遠隔地に家を建てており、戻ってこないのはむしろ普通のことです。晩婚化・未婚化により、老親と未婚の子のみの家族も珍しいもので

はありません。家族セルフケア機能の弱体化に伴い、家族志向ケアの主な対象は小児虐待や不登校等から脆弱高齢者へと変化しています。

現在、構築が進められている地域包括ケアとは、医療と介護等が連携することで住み慣れた地域での生活を維持する仕組みです。家族のセルフケア機能（以前なら配偶者や子ども）に頼れない分を、地域の公的・非公的資源で補完する目的で整備されているとも言えるでしょう。確かに家族介護のために結婚・出産等が制限されるのは理不尽であり、公的な介護や高齢者医療の充実が不可欠です。しかし、高齢者自身を援助するだけではなく、家族の高齢者支援を援助する視点も必要です。家族の一人ひとりの立場にも共感し、一人ひとりに無理ない範囲で協力してもらい、妥協点を見つけ出します。地域包括ケアは家族ケアの補完に過ぎないということを、医療・介護スタッフは自覚するべきです。家族という生命体の中で相互支援する家族セルフケア機能こそが、家族の持つ精神的安らぎの源泉なのではないでしょうか。

笠間の歴史探訪 17

小原地区の古墳の調査

小原は、「常陸風土記」の那珂郡の条にある「茨城の里」で、茨城がなまなまて小原となり、茨城の名の発祥の地ともいわれています。このようなことから、小原地内には、原始から古代にかけて継続する遺跡が多く、かなり栄えた地であったと推定されます。

昭和五十年（一九七五）小原古宿の広慶寺墓地造成中に、高寺古墳群二号墳の石室が露出したことから、古墳の調査が行われました。主に埋葬施設のみの調査でしたが、石室は、花崗岩の大きな割石を用いた片袖式の横穴で、内部から直刀七振、鉄鍬二十三点、刀子、つば等の鉄製品、銀環、切子玉、管玉、ガラス製小玉等や残された墳丘から、武人埴輪片、円筒埴輪片、提瓶一個が検出されました。被葬者は、七世紀ごろの有力氏族で、小原が旧茨城国の中心でもあったとする説を裏付けるとともに、古代氏族の解明に一石を投じる意義深い調査でした。

笠間市では、この二号墳を市指定文化財【史跡】として復元

し、保存状態のよい出土品は市指定文化財【考古資料】に指定して、笠間市立歴史民俗資料館で保存、展示しています。古墳とあわせて出土品を鑑賞し、古代の文化にふれてみてはいかがでしょうか。

（市史研究員 能島 清光）



高寺二号墳出土遺物
（笠間市立歴史民俗資料館）



高寺二号墳

月曜日～金曜日 19時～21時

※受診前にお問い合わせください。TEL0296-77-0034

笠間市民の方は、無料で「健康・医療・育児・介護・医療機関情報」等について相談できます。

フリーダイヤル 0120-3992-01

回の共同作業に参加できる方
使用期間▶平成26年4月～平成27年3月までの1年間(契約更新可)

使用料▶年間10,000円(1区画30㎡)
 予定※年度途中の場合は、月割。

申込方法▶所定の使用申請書およびアンケートを笠間クラインガルテンクラブハウスまで提出してください。申請書は、ホームページからもダウンロードできます。なお、申込みは先着順とさせていただきます。

笠間クラインガルテンホームページ
<http://www.kasama-kg.jp/>

申・問笠間クラインガルテン(月曜定休)
 TEL0296-70-3011

平成26・27年度の後期高齢者医療保険料率が決定

茨城県後期高齢者医療広域連合議会において、平成26・27年度の保険料率および賦課限度額が決定されました。

被保険者一人当たりの医療給付費については、年々増加傾向にあり、今後も増加が見込まれますが、保険料調整基金を活用することにより、保険料率の上昇を抑制したため、平成26・27年度も据え置きとなりました。

		平成26・27年度	平成24・25年度
保険料	均等割額	39,500円	39,500円
	所得割率	8.00%	8.00%
保険料の賦課限度額(上限額)		57万円	55万円

■個人ごとの保険料額の決め方

1年間の保険料額 (100円未満切捨て)	=	均等割額 39,500円	+	所得割額 (賦課のもととなる金額) × 8.00%
-------------------------	---	-----------------	---	------------------------------

※賦課のもととなる金額 = 総所得金額等 - 基礎控除33万円

※総所得金額等とは、前年の収入から必要経費(公的年金控除額や給与所得控除額など)を差し引いたもので、社会保険料控除、配偶者控除などの各種所得控除前の金額です。

※年度の途中で被保険者になられた方は、資格取得月からの月割りで保険料額が計算されます。

【均等割額の軽減】世帯の所得水準にあわせて、次のとおり均等割額が軽減されます。

世帯(被保険者と世帯主)の総所得金額等が次の場合	均等割額の軽減割合	軽減後の均等割額
33万円を超えない世帯で、被保険者全員が年金収入80万円以下の世帯 (※その他各種所得がない場合)	9割	3,950円
33万円を超えない世帯	8.5割	5,925円
33万円 + 「24.5万円 × 世帯の被保険者数」を超えない世帯	5割	19,750円
33万円 + 「45万円 × 世帯の被保険者数」を超えない世帯	2割	31,600円

※収入が公的年金のみの方は、年金収入額から公的年金控除(年金収入額が330万円以下は120万円)を差し引き、65歳以上の方は、さらに高齢者特別控除(15万円)を差し引いて判定します。

【所得割額の軽減】

保険料の所得割額を負担している方で、基礎控除後の総所得金額等が58万円以下(年金収入のみの方は、その額が153万円から211万円以下)の場合は、所得割額が5割軽減されます。

【その他の軽減】

後期高齢者医療制度に加入する前に「会社などの健康保険の被扶養者」であった方は、均等割額が9割軽減され、所得割額の負担はありません。

【問合せ】 保険年金課(内線141・142)

エコフロンティアかさま監視委員会活動報告(2月21日)

【施設の維持管理(一般廃棄物・産業廃棄物)】

環境保全事業団より、施設の維持管理に係る資料の提出を求め、その資料に基づき維持管理状況の報告を受けた。

施設の維持管理について、「施設の維持管理に関する計画」において一般廃棄物で26項目、産業廃棄物で28項目を定めており、一般廃棄物・産業廃棄物とも施設の維持管理計画に従い適正に実施されている。

【次回の監視活動】

施設モニタリング・排ガスの維持管理・浸出水の放流について実施。

4月の納税等

納期限：4月30日(水)

固定資産税(1期分)
介護保険料(1期分)



※納税には、簡単で便利な口座振替をご利用ください。

納期限を過ぎると延滞金が増加されます。早めの納税をお願いします。

近藤眞一税理士事務所

相続・贈与・土地売買などの
ご相談は近藤眞一税理士事務所へ
お問い合わせください。



TEL0296-78-3383 FAX 0296-78-3383

〒309-1722 笠間市平町1722番地14

しよはん 書範書道教室

おけいこ日 水・木・土曜日

児童 月4回/60分

一般 月3回/90分または月1回/120分

☎0296-77-7253 小野霞翠(かすい)

住所：笠間市鯉淵6256-63(旧友部町)

<http://kasui-shodo.jimdo.com/>

■案内

笠間市住宅用太陽光発電システム設置費補助制度のご案内

新エネルギーの有効利用を図り、地球温暖化の防止と環境にやさしいまちづくりを推進するため、住宅用太陽光発電システムを設置する方に補助金を交付します。

補助内容▶1キロワットあたり40,000円にシステムの最大出力の合計値を乗じて得た額。限度額は200,000円

対象(次のいずれにも該当する方)▶

(1)市内に住所を有する方または市内に住所を定めようとする方のうち、補助金交付時までに笠間市内に住所を定めることができる方

(2)自ら居住する住宅(店舗等の併用住宅を含む)に補助対象設備を設置する方および、自ら居住するために市内に補助対象設備付き住宅を購入する方

(3)補助申請に係るすべての手続きを平成27年3月20日までに完了することができる方

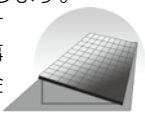
(4)市町村税を滞納していない方

受付開始日▶4月14日(月) 先着順

受付窓口▶環境保全課(土日・祝日を除く)

午前8時30分～午後5時15分)郵送不可。
※申請書類等は窓口にあります。

※申請後、市からの交付決定通知が届く前に工事を開始した方は、補助金が交付されません。



問 環境保全課(内線125)

過去2年間に国民年金保険料の未納期間がある方へ

国民年金保険料の免除申請ができる対象期間が拡大されました。

平成26年4月からは、申請時点の2年1か月前の月分まで申請ができるようになりました。

申請方法▶笠間市役所または年金事務所に申請してください。※必要な添付書類など、詳しくはお問い合わせください。

◆注意事項◆

○申請が遅れると障害年金などを受け取れない場合がありますので、すみやかに申請してください。

○申請期間に対応する前年所得審査に基づき行いますので、免除が承認されない場合があります。

問 保険年金課(内線141・142)
笠間支所市民窓口課(内線72123)
岩間支所市民窓口課(内線73181)
水戸南年金事務所 Tel.029-227-3251

ストマ装具の保管登録のご案内

大きな災害の際に、オストメイトの方のストマ装具の保管登録を行っています。指定の保管庫に、日常使用しているストマ装具をあらかじめ備蓄することにより、避難所でも使い慣れた自分のストマ装具を装着することができます。

対象▶市内在住・在学・在勤のオストメイト(身体障害者手帳所持者で膀胱・直腸機能障害の方)

保管対象▶個人が使用するストマ装具 おおむね2週間分

保管期間▶1年間※更新期間中に更新せず、1年間が経過したものは処分します。

保管場所▶笠間市役所本所相談室
※災害時の対応等、運用の詳細についてはお問い合わせください。

問 社会福祉課(内線154)

65歳以上の方は日動美術館・春風萬里荘の入館料が無料になります

緑豊かな野外彫刻庭園を散策しながら、本物の美術作品と触れ合ってみませんか。

対象▶笠間市内に在住の65歳以上の方と同伴の家族の方(同伴1名まで)

入館料▶無料※自己申告制です。免許証・住基カード・保険証等の年齢が確認できるものをご提示ください。

期間▶平成27年3月31日(火)まで

場所▶笠間日動美術館および春風萬里荘
開館時間▶午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日▶月曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)

「日仏文化協力90周年記念 画家と画商の物語 印象派からエコール・ド・パリまで」を開催中(笠間日動美術館)

会期▶5月25日(日)まで
小中学生の入館料がお求めやすくなりました。

○企画展…個人300円、団体割引(20名以上)200円

○春風萬里荘…個人200円、団体割引(20名以上)100円

問 日動美術館Tel.0296-72-2160

春風萬里荘Tel.0296-72-0958

生涯学習課(内線382)

『笠間市ホストファミリー登録制度』を始めます!

笠間市を訪れる外国人の支援と国際交流の推進を図るため、ホームステイの受入れを希望する方に、ホストファミリーとして登録していただく制度です。

登録方法▶『笠間市ホストファミリー登録申込書』を市民活動課まで提出してください。申請書様式、詳細については、お問い合わせください。

※ご紹介するホームステイ利用者は、原則として笠間市に關係のある団体から市へ依頼や紹介があった外国人の方です。

※ホームステイ受入れに伴う基本的な費用(食費、光熱費等)は、原則として受入れ家庭に負担をお願いします。必要な費用の補助として、依頼元団体または本人から謝礼をお支払いします。

問 市民活動課(内線132・133)

第19回笠間少年少女合唱団定期演奏会を開催

入場無料。ぜひお越しください。

日時▶4月27日(日)

午後1時30分開場、2時開演

会場▶笠間公民館大ホール(石井)

演目▶～いのち輝かせて～

1部 児童合唱組曲「虫の絵本」
2部 わたしたちの大好きなあの歌・この歌 COSMOS、雨のち晴レルヤ…他
3部 ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」より…歌とおはなしでつづる「マリアと7人のこどもたち」

問 笠間少年少女合唱団事務局 平塚
Tel.0296-78-4630

募集

笠間クラインガルテン日帰り市民農園の利用者を募集します

笠間クラインガルテンでは、日帰り市民農園の利用者を募集しています。里山に囲まれた自然豊かな環境で、農園ライフを楽しんでみませんか。農園内は、有機無農薬での栽培となります。初心者の方でも安心して栽培できるよう、専属講師による栽培講習会や堆肥、農機具、耕うん機、水道、休憩施設なども無料で利用できます。

対象▶充実した農園活動をめざし、年4

Maria's English School.

友部旭町教室 新規入学受付中

*内藤マリア(MariaRogers)英国出身
*IIEEC-OxfordUniversityTeacherTrainingCertificate

15年以上の英語教授経験があります。

* (月謝) 幼稚園児¥3,800(30分)

小学生¥6,000(50分)

*44回/年 Facebook Maria's English School

電話番号 090-6488-3385



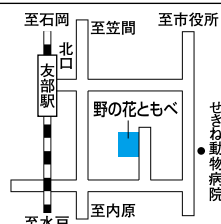
体験
レ
ッ
ス
ン

♥幸せな結婚を迎えてほしい♥

月会費・年会費・相談無料
その他入会者優遇有り
成婚まで母心で応援します

地元で15年 茨城結婚情報グループ
日本ブライダル連盟・関東良縁協会所属

野の花ともべ (0296) 78-0406



笠間市南友部1937

およめさんおむこさん

日付	行 事
1木	第33回笠間の陶炎祭(ひまつり)(5月5日まで) 笠間芸術の森公園(笠間焼協同組合 Tel0296-73-0058) 第43回笠間つつじまつり(5月11日まで) 笠間つつじ公園(商工観光課 内線517) あたご山桜まつり(5月6日まで) 愛宕山大駐車場(笠間観光協会 Tel0296-72-9222) 窓口延長サービス【笠間支所】17:15～19:30
2金	
3土	憲法記念日
4日	みどりの日 日曜窓口サービス【市役所本所】8:30～12:00
5月	こどもの日
6火	振替休日
7水	いこいの家「はなさか」休館日 窓口延長サービス【市役所本所】17:15～19:30
8木	窓口延長サービス【笠間支所】17:15～19:30
9金	
10土	
11日	天狗の郷バザールdeいわま 岩間駅南広場 普通救命講習会9:00～12:00 市民センターいわま 消本 日曜窓口サービス【市役所本所】8:30～12:00
12月	いこいの家「はなさか」休館日
13火	窓口延長サービス【岩間支所】17:15～19:30
14水	窓口延長サービス【市役所本所】17:15～19:30
15木	行政書士無料相談会 13:00～16:00 笠間市役所本所1階ロビー(秘書課 内線 226) 窓口延長サービス【笠間支所】17:15～19:30

日付	行 事
16金	地域児童相談 9:30～16:00 笠間保健センター (子ども福祉課 内線163) ※完全予約制
17土	
18日	笠間いきいき市場 友部公民館前広場 日曜窓口サービス【市役所本所】8:30～12:00
19月	いこいの家「はなさか」休館日
20火	窓口延長サービス【岩間支所】17:15～19:30
21水	特設無料人権相談所 10:00～15:00 友部社会福祉会館 法務 窓口延長サービス【市役所本所】17:15～19:30
22木	窓口延長サービス【笠間支所】17:15～19:30
23金	
24土	
25日	日曜窓口サービス【市役所本所】8:30～12:00
26月	いこいの家「はなさか」休館日
27火	窓口延長サービス【岩間支所】17:15～19:30
28水	特設行政相談 14:00～16:00 市民センターいわま(秘書課 内線 226) 窓口延長サービス【市役所本所】17:15～19:30
29木	窓口延長サービス【笠間支所】17:15～19:30
30金	
31土	

※岩間子育て支援センター『くりのこ』は、毎週月・水・金曜日に開設します(市民センターいわま内10:00～16:00)。祝日は休み。
 ※笠間子育て支援センター『みつばち』は、毎週火・木・金曜日に開設します(笠間ショッピングセンターポレポレ内10:00～16:00)。祝日は休み。
 ※友部子育て支援センター『かんがるー』は、毎週月～金曜日に開設します(笠間市児童館内9:00～16:00)。
 ※各保健センターで実施する、健診・予防接種などは、保健カレンダーをご覧ください。

+ 5月の休日救急診療当番 (9:00～17:00)

日付	曜日	病院名	電話番号
毎週	日	笠間市立病院	0296-77-0034
3	土	石橋内科医院	0296-71-3181
5	月	いけうち医院	0296-72-1105
6	火	菅谷医院	0299-45-2172

※平日夜間19:00～21:00(祝日を除く)は笠間市立病院で初期救急診療を行っています。
 ※当番医は変更になる場合がありますので、確認の上、診療を受けてください。

☎ テレホンサービス ☎ 0296-77-9711

4月11日～20日 健康ホットライン(生活を支える「守り」の医療)
 4月21日～30日 歴史探訪「笠間の時習館」
 5月 1日～10日 作文「男女平等について考えたこと」

電話番号一覧

ともへ保	ともべ保育所	0296-77-6105
は	いこいの家はなさか	0296-77-5110
笠公	笠間公民館	0296-72-2100
友公	友部公民館	0296-77-7533
岩公	岩間公民館	0299-45-2080
笠保	笠間保健センター	0296-72-7711
友保	友部保健センター	0296-77-9145
岩保	岩間保健センター	0299-45-7888
市セ	市民センターいわま	0299-37-6611 0296-77-1101
法務	水戸地方法務局	029-227-9919
消本	笠間市消防本部	0296-73-0119

◆としょかん1年生のご案内

新小学1年生の皆さん、入学おめでとうございます。入学式で配布された図書館からの「しょうたいじょう（招待状）」には、新小学1年生に、自分の図書館カードを作り、「借りたいものを自分で借りる」ことを体験して、本への興味や世界を広げてほしい、という事業です。

「しょうたいじょう」をお持ちいただいた方には、「としょかん1年生パック」をお渡ししています。まだ受け取っていない方はお子さんと一緒にお近くの図書館までお越しください。

また、各図書館では、「としょかん1年生コーナー」を作り、おすすめの楽しい本をたくさん展示しています。ぜひ、ご家族で図書館に来てください。

いちねんせいになった みなさんへ

しょうたいじょう

かさましりつとしょかんより

しょうたいじょう

◆雑誌のスポンサーを募集中！

笠間市立図書館では「雑誌スポンサー事業」を実施しています。図書館の雑誌に、広告や地域イベントなどを掲載し、さまざまな情報発信に活用いただけます。

「雑誌スポンサー」は、図書館の雑誌の中からご希望のものを選び、その年間購読料相当額（平均10,000円程度）で、雑誌の最新号のカバー表面にスポンサー名を、裏面全面にお知らせ広告を挿入することができます。

図書館の昨年度の来館者数は3館合計で約61万人。市外からもたくさんの方にご利用いただいています。ぜひ、情報発信のツールとしてご活用ください。

【内容】

広告期間：1年単位

対象雑誌：対象雑誌リストから選択（先着順）

広告場所：市内3つの図書館から選択（先着順）

募集範囲：個人の方を除く企業、商店、組織、団体等、詳細は各図書館にお問い合わせください。

【笠間図書館】

おかげさまで10周年！

2004年4月23日に開館した笠間図書館は今年で10周年を迎えます。今後とも笠間図書館をよろしく願います。

5月 各館の行事予定

友部図書館

◆おはなし会（0歳～3歳向け 午前11時～）

5月 1日（木）『サンドイッチ サンドイッチ』ほか
 5月15日（木）『ペンぎんたいそう』ほか

◆おはなし会（4歳～小学生向け 午後2時～）

5月 4日（日）『きんたろう』ほか くすみのWA
 5月11日（日）パネル『まほうのシャンプー』ほか

〈まゆみ朗読会〉

5月18日（日）紙芝居『このぼりさん ありがとう』ほか

◆名作映画会（午後2時～）

5月25日（日）『白い船』（108分）

◆ギャラリー

◇4月29日（火）～5月11日（日）

「写真パネル（動物愛護啓発の写真）」ドックテレサ

◇5月13日（火）～5月25日（日）

「水彩画 風景」益子義一

◇5月27日（火）～6月8日（日）

「水彩画 押し絵」横田佳子

笠間図書館

◆おはなし会（0歳～3歳向け 午前11時～11時20分）

5月 2日（金）来てのおたのしみ！

※〈 〉は実施するボランティア名です
 ※内容は変更になる場合があります

5月16日（金）来てのおたのしみ！

◆おはなし会（4歳～小学生向け 午後2時～）

5月 4日（日）来てのおたのしみ！

5月11日（日）来てのおたのしみ！

5月18日（日）『きょうはなんてうんがいいんだろう』ほか
 〈語り部の会〉

5月25日（日）『くさはをむ』ほか〈箱田I⁷の・マーズ〉

◆上映会（午後2時～）

5月17日（土）『5等になりたい』（78分）

◆ギャラリー

◇4月25日（金）～6月25日（水）

「笠間の歴史絵展」

岩間図書館

◆おはなし会（0歳～3歳向け 午前11時30分～正午）

5月 2日（金）『サンドイッチいただきます』ほか

*場所：岩間子育て支援センターくりのこ

◆おはなし会（4歳～小学生向け）

◇日曜おはなし会（午後2時～2時30分）

5月11日（日）スペシャルおはなし会

『しごとをとりかえたおやじさん』ほか

◇おはなしのとびら（午後2時～2時30分）

5月10日（土）『ねこのぼり』ほか

5月24日（土）来てのおたのしみ！

シリーズ 92 ふるさと 笠間に生きる人たち

かさま 市民力

このコーナーでは、市民の皆さんが自らの活動で地域貢献している団体などを紹介します。掲載を希望する団体は市民活動課へご連絡ください。



せせらぎの会 会員



代表者(大川 健さん)より

音訳とは、目の不自由な方に、文字などの情報を音声に変えて情報提供することをいいます。私は音訳活動を始めて6年目になります。定年を迎え、家でぼんやりしてはあまりにも切ないと思い、笠間市社会福祉協議会ボランティアの中で自分にできるもので、誰かの役に立てるものはないかと思い、活動に参加しました。

音訳は文を読むだけではないのです。例えば、複雑な業務の流れを矢印で表わした説明図などは、いざ音訳となると、どんな言葉で表現しようかと自分の脳をフル稼働します。私の老化防止、そして、視覚障がい者のための手助けをできる、まさにやりがいのある活動です。

視覚障がい者へ 正確な音訳情報を提供

私たちのサークルは、昭和63年に結成されました。当初は、幼稚園や保育所などの読み聞かせや紙芝居など数多くの行事を行っておりました。しかし、会員数の減少などもあり、平成18年以降は「社協だより」を中心とした音訳の活動をしています。目で見た情報をまるで見えているかのような音の情報に替えて音訳テープを作成しています。

現在の会員数は10名で、活動の拠点は笠間市社会福祉協議会のボランティアセンター岩間です。月一回の定例会の他に「社協だより」、「議会だより」の発行に合わせ臨時会合を開き、お互いの音訳担当ページを決めます。そして、地名や人名等の読み方を確認したのちにカセットテープに録音します。楽しみながらも正確な音訳情報を提供するために、真剣にメンバー同士で音訳内容の確認をしながら作業をしています。

〈お問い合わせ〉

代表 大川 健

電話 0299-45-5013

社会福祉協議会
ボランティアサークル
音訳「せせらぎ」

代表者／おおかわ たけし大川 健(安居)
設立／昭和63年
会 員／10人



役割分担の様子



録音前の打ち合わせ



録音機器の設定



「社協だより」録音風景

陶に親しむ

4

茨城県陶芸美術館の所蔵品から

加藤土師萌 (一九〇〇—一九六八)

紅地金欄手雲雀迎春花文飾壺 一九六八年

花が咲き、小鳥の歌が聞こえる温かな季節となりました。本作「紅地金欄手雲雀迎春花文飾壺」は、春の訪れを祝福するかのような典雅優美な飾壺です。壺に描かれているのは、雲雀と黄梅です。雲雀の鳴き声は春の訪れを告げる声とされ、黄梅は春先一番に咲くことから中国名で「迎春花」と呼ばれ、春を迎える花といわれています。

加藤土師萌は、愛知県瀬戸市に生まれ、一九六一年、重要無形文化財「色絵磁器」保持者（人間国宝）に認定されました。中国陶磁について高い見識を持ち、陶技を追究



「紅地金欄手雲雀迎春花文飾壺」
昭和43年（1968）
高21.9×幅20.8cm

し、黄地紅彩、萌葱金欄手、青白磁などを現代に甦らせるとともに、織部、黄瀬戸、唐津、萩、備前など様々な技法を幅広く駆使し、優れた作品を残しました。本作の「紅地金欄手」とは、器の表面を赤絵具で塗り、金箔を文様の形に切り、貼り付ける技法で、加藤はこれを中国・明時代の景德鎮官窯の技法から学んでいます。切り貼りされた金箔と、針彫りによる自由な描線により描かれた文様は、筆書きとは一風違う魅力を作品に与えています。加藤は鳥や花など自然の形態を文様化する感覚に優れ、伸びやかな動植物文様の反復によって覆い尽くされた壺は、華々しさと瑞々しい情感に溢れています。

この壺には、加藤の技法追究による知性と、自然物に寄せる温かな感性とがみごとに示されています。

（茨城県陶芸美術館学芸課 宮本梨衣）

※展示は六月八日（日）まで

第14代 かさま観光大使を 紹介します！

市の観光イベントや県内外の観光キャンペーンで活躍するかさま観光大使の第14代目に阿部真知子さんと渡部亜津紗さんの2人が選ばれました。

先輩大使の2人とともに、平成26年4月から28年3月までの2年間、笠間市の観光PRを行っていきます。みなさん、よろしくお願いします！

あべ まちこ
阿部 真知子
山形県出身

おもてなしとは、“相手のところをほぐすこと”だと考えます。あたたかな笑顔でおもてなしのできる観光大使を目指します。

わたなべ あづさ
渡部 亜津紗
笠間市出身

かさま観光大使として笠間市のPRができることを大変うれしく思います。一人でも多くの皆様に笠間市の魅力を、紹介できるよう頑張りたいです。

かさま食彩

家族と一緒に食卓を囲み、このレシピを試してみませんか？

はまぐり

蛤の香り煮



栄養成分 (1人分) エネルギー23kcal、たんぱく質2.7g、脂質0.2g、塩分0.9g

材料 (4人分)

蛤(殻つき)..... 中8個(320g)
セロリ(細切り)..... 2本
人参(細切り)..... 30g
生しいたけ(細切り)..... 30g
水..... 2カップ
しょうゆ..... 小さじ1と1/2
こしょう..... 適宜



作り方

- ①蛤は、殻をこすり合わせてきれいに洗う。
- ②セロリは筋を取って切り、葉も食べやすい大きさに切り、人参、生しいたけも切っておく。
- ③鍋に分量の水と蛤を入れて火にかけ、ひと煮立ちしたらアクを取る。蛤の口が開いたら取り出す。
- ④③にセロリ、人参、生しいたけを加えて煮る。
- ⑤野菜がしんなりしたら蛤を戻し入れ、しょうゆを加えてひと煮立ちさせ、こしょうを加える。

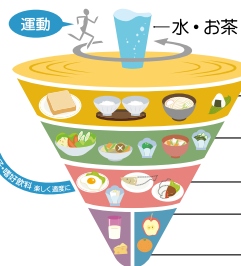
「食事バランスガイド」を活用しましょう

「食事バランスガイド」とは、1日に「何を」「どれだけ」食べたら良いかをコマをイメージしたイラストで示したものです。バランスよく食べて、運動をするとコマは安定して回りますが、食事のバランスが悪いとコマは倒れてしまいます。あなたのコマはうまく回っていますか？

料理の単位[つ(SV)]とは？

食事バランスガイドでは料理を[つ(SV)]という単位で数えます。5つのグループごとに、一日の目安となる「つ」をとることでバランスのよい食事になります。

※SV＝サービング(食事提供料の単位)



詳しくは **食事バランスガイド** **検索**

5~7 主食(ごはん、パン、麺)

ごはん(中盛り)だったら4杯程度

3~5 主菜(肉、魚、卵、大豆料理)

肉・魚・卵・大豆料理から3皿程度

2 果物

みかんだったら2個程度

5~6 副菜

(野菜、きのこ、海藻料理)

野菜料理5皿程度

2 牛乳・乳製品

牛乳だったら1本程度

厚生労働省・農林水産省決定

今月のレシピは



副菜0.5SV
主菜0.5SV

今月の笠間焼うつわプレゼントはお休みします。

かさま ぽけっと

子育て支援のページ

61



海は広いな、大きいな...♪

新米パパのイクメン日記



二人の子の父親となり、子供たちのさまざまな姿を見る事が私の何よりの楽しみとなっています。以前、自分は「イクメン」にはならないだろうと思っていましたが、実際わが子が生まれると、おむつ替えや着替え、お風呂に入れる事などは自然にやっており、育児は母親だけがやるのではなく父親にとっても当たり前の事なのだと気づきました。

とは言え、育児の中には父親にはできない事もあり、そんな時は家事に回り、出産・育児で腰や腕を痛めた妻の負担を少しでも減らすよう心がけています。

そろそろ上の子はお話を、下の子はハイハイを始める頃です。成長に合わせて、次は何をしてあげようかと、自分なりに考えて育児を楽しんでいこうと思っています。(J.T)

笠間キッズ館アドレス <http://kasamacity-kidskan.com/> 問合せ：笠間キッズ館 Tel.0296-77-8340

かさまぽけっとアドレス <http://www.city.kasama.lg.jp/index.php?code=1676> 問合せ：子ども福祉課(内線162)

人口と世帯数(常住人口3.1現在) ▶ 人口 77,596人(-12人) 男 37,998人(+4人) 女 39,598人(-16人)
▶ 世帯数 28,586世帯(+40世帯) ▶ 2月の出生数 39人



○広報かさまに掲載されているあなたの写真を差し上げます。お問い合わせは秘書課(内線225)まで。
○市ホームページモバイル版では、行政・災害などのさまざまな情報をお届けしています。

<http://www.city.kasama.lg.jp/mobile.php>



再生紙を使用しています